

岡山県代協

通常総会と暴力追放大会開く

組織一丸で会員増強に取り組む

岡山県代協（谷川明義会長）は5月27日岡市のピアリティまきびで第54回通常総会ならびに第35回暴力追放大会を開いた。

同代協は長年にわたって暴力追放大会を開いてきた。同代協は長年にわたり会員組織率全国トップを維持してきたが、昨年度は香川県にその座を譲ることになった。開会冒頭、あいさつにたつた谷川会長もそのことに触れ、「本年度は首位の定位位置に戻れるよう会員拡大を最重要課題として取り組んでいただきたい。



総会の模様

岡山代協が会員の皆さん、お客様のために役立てる組織として発展できるよう皆様の協力をお願ひしたい」と述べた。

引き続き、議事審議に入り第1号から第6号議案がそれぞれ可決承認され、生命保険の売り上げが伸びる」をテーマに約1時間半講演した。同氏は多くの人が関心はあるものの、知識は乏しい公的年金の説明、そしてそれを生命保険販売にどのように結びつけるか具体的に解説した。

通常総会終了後は暴力追放大会に移った。昭和57年、全国に先駆けて発足した岡山県損害保険代理業協会暴力追放協議会は同62年に下部組織として警察署単位に支部を組み、暴力をめぐる問題について、岡山県警本部交通部補佐の講演があった。

お、前年度末の会員数は346店である。続いて、度末の会員数は3

れた。な組織、あらゆる暴力を排除し、損害保険事業の健全な発展を図るために積極的な活動を長年にわたり展開してきた。

今年で35回目を数える

大会には同協議会の顧問

ドバイザー協会の山中伸

枝理事が「公的保険を知

れば、生命保険の売り上

げが伸びる」をテーマに

約1時間半講演した。同

氏は多くの人が関心はあるものの、知識は乏しい

公的年金の説明、そして

それを生命保険販売にど

のように結びつけるか具

体的に解説した。

通常総会終了後は暴力

追放大会に移った。昭和

57年、全国に先駆けて発

足した岡山県損害保険代

理業協会暴力追放協議会

は同62年に下部組織とし

て警察署単位に支部を組

み、暴力をめぐる問題について、岡山県警本部交通部補佐の講演があつた。